

弘前警察署の重点路線・重点地区（令和6年1月～6月）

	重点路線(地区)	指 定 理 由
1	国道7号	交通量が多い主要幹線道路で、過去3年間の発生件数は45件と管内の路線別では1番多い。高速度による重大事故の発生が懸念されることから、速度抑制の指導取締り及び交差点関連違反の対策が必要である。
2	国道339号BP	国道7号に次ぐ主要幹線道路で、重傷事故も1件発生している。板柳署との統合により延長された路線であり、重大事故の発生が懸念されることから、国道7号と同様の対策が必要である。
3	主要地方道弘前鱒ヶ沢線	過去3年間(上半期)の発生件数については減少傾向にあるものの、路線別の発生件数では2番目に多く、交差点関連違反に起因する事故の発生も見られ、引き続き速度抑制等の対策が必要である。
4	主要地方道五所川原岩木線	昨年(上半期)には、発生件数が増加している上、弘前市内と五所川原市方面を結ぶ主要な路線であり通過交通が多いことから、継続的に交通取締りを強化し、通過車両への交通事故防止を図る必要がある。
5	県道石川百田線	昨年(上半期)の発生件数は増加に転じている上、国道7号から市内へ流入する路線であり、市街地・非市街地での事故が発生しているため、速度抑制等の総合的な対策が必要である。
6	弘前駅前交番管内	過去3年間(上半期)の発生件数は横ばい状態にあり、弘前駅や商業施設がある地域で横断歩行者妨害及び信号看過に起因する交通事故の発生が見られることから、交差点関連違反に重点をおいた取締りが必要である。
7	中央交番管内	昨年(上半期)の発生件数は増加傾向にあり、商業施設や歓楽街があるため昼夜ともに交通量が多い場所である。一時不停止、横断歩行者妨害違反、信号看過に起因する事故の発生が認められることから、交差点関連違反に重点をおいた取締りが必要である。
8	柵形交番管内	昨年の(上半期)の発生件数は増加に転じており、学校及び商業施設を抱えた地域でもあり、交差点関連違反に起因する事故の発生が多いため、スクールゾーンや交差点関連違反対策が必要である。
9	城東交番管内	過去3年間(上半期)の発生件数は83件と地区別で1番多い。国道7号や商業施設により昼夜ともに交通量が多く、事故の発生が懸念されることから、交差点对策に重点を置いた取締りを強化していく必要がある。

※ 重点路線・重点地区以外の場所であっても、取締りを実施することがあります。

弘前警察署の交通指導取締り方針（令和6年1月～6月）

	重点路線(地区)	重点的に取締りを実施する違反種別							
		速度超過	携帯電話・シートベルト	信号無視	一時不停止	横断歩行者妨害	飲酒運転	自転車	通行禁止
1	国道7号	○	○	○					
2	国道339号BP	○	○	○					
3	主要地方道弘前鱒ヶ沢線	○	○	○					
4	主要地方道五所川原岩木線	○	○	○	○				
5	県道石川百田線	○	○	○					
6	駅前交番管内		○	○	○	○		○	
7	中央交番管内		○	○	○	○	○		
8	柵形交番管内		○		○	○		○	○
9	城東交番管内		○	○	○	○			

※ 重点指定されていない違反種別についても、取締りを実施することがあります。